

創刊 お試し号 おおさか剣道かわら版(仮称)

剣道・居合道・杖道大好き! みんなの情報誌 です!

Vol.001
2021. 1. 1 発行

発行責任者
公益社団法人
大阪府剣道連盟
広報 Pj

「おおさか剣道かわら版(仮称)」の発刊に当たって 会長 長榮 周作

平素は当連盟に格別のご支援、ご協力を賜り誠に有り難うございます。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、大会、審査会、講習会などの諸行事が中止・延期となり、会員各位には多大のご迷惑をお掛けしました。一日も早く収束することを願っています。

「おおさか剣道かわら版(仮称)」 の名称を募集します!!

<応募方法>

氏名 剣道 だいすけ
個人登録番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9
連絡先 電話番号(携帯) 〇〇〇〇
名称 〇〇〇〇
推薦メロ 大阪らしい響きだから
・・・など

を書いて、下記の宛先までお送りください

E-メール info-shinsa@osa-kendo.or.jp

または FAX 06-6351-3346

締め切り R3年2月28日

※結果は、6月の総会で発表します

既にホームページなどを利用して、コロナ禍での剣道の新しい在り方など提案してまいりましたが、この機会に剣道の理念「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道」を、より分かりやすく、より身近に感じていただく場をつくり、剣道を愛する剣士が、それぞれの立場で、より一層人間形成に寄与できる内容を提供していきたいと考えています。

会員の皆さまとの双方向の情報交換によって絆を固め、素晴らしい日本固有の伝統文化である剣道とその基盤をなす道場文化のさらなる発展を応援したく標記の「かわら版」を発刊することといたしました。

生涯剣道につなげる指導者の育成を目指し、その指導に導かれて剣道を始める少年・少女剣士が、心を養い、技量を錬り、保育園から幼稚園園児、小、中、高、大学生、そして良き社会人として、この国を支える有用な人材として巣立つことに少しでも貢献できれば、これに勝る喜びはありません。

<編集方針とお届け予定>

1. いつから?

広報 Pj (編集局) の準備が整い次第、新年度から2ヶ月に一回程度の発刊を目指しています。

2. どうしたら見られるの?

連盟のメルマガとホームページでご覧いただけます。更に、ご希望の会員(団体)様には郵送させて戴きます(有料)。

3. 内容、対象は?

講習会で行う指導法、審判法、日本剣道形の解説に加えて、剣道に関する知識、理論など先人の教えや名言、剣道歌の解説、昇段者及び各段位合格者名と手記の紹介、全剣連表彰者の披露など、分野を限定せず、会員との相互の交流を広げていきたいと考えています。

4. 会員の皆様からの投稿大歓迎!

「かわら版」は剣道・居合道・杖道大好き! のみんなの情報誌です。
会員の皆様からの投稿をお待ちしています。

E-メール: **info-shinsa@osa-kendo.or.jp** まで、WORD 等の電子データでお送りください。ただし、掲載されるかどうかは編集方針に照らして判断させていただきます。あしからずご了承ください。

*** 広報 Pj からのお願い ***

広報委員会(森委員長)が窓口ですが、広く取材する必要から、会員の皆様のご支援をよろしくお願いします。

(編集長 小西麻理)

剣道大好き！シリーズ その1 「剣道を学ぶにあたって」

石塚美文先生からお借りした、「剣心館のしおり」をご紹介します



当初は子供4人から始まり、十人十色、格差がある。いろいろな紆余曲折があったが、館の旗には「剣心一如」と。「剣は心なり、学ばんと欲すれば、まず心を学ぶべし、心正しからざれば、剣また正しからざる。」と島田虎之助先生の遺訓から頂戴した指針の下、修練に励んでいます。

指導方針は、①剣道の徳性（四徳）によって心身を錬磨し人格を形成する ②教育的観念から剣道を習得させる（知育・徳育・体育） ③自主自立の精神を養う（三位一体：本人、指導者、家族の協力体制）

剣道を始める動機は、他人に勧められた人、自発的な人、兄弟関係の人、両親の勧め、その他千差万別であり、また剣道に対する考えも個人差がある。しかし子供たちが、立派に成長してほしいと願うのは、どこの家庭でも、ご両親でも一緒ではないだろうか。這えば立て、立てば歩めの親心と。誰しもが持つ気持ちだが、時にはこの気持ちがマイナスになることも。

例えば入会当初は、せめて礼儀作法がきちっとできるようになればとの思いが、しばらくして剣道具を装着し稽古が始まると、他の子供と自分の子供を比較するように。更に、試合稽古になってくると、勝敗だけを重視した

見方に変わってくる。こういったことも分らないことはないが、いつもは、性格、体力、運動能力、育った環境、性別等十人十色、格差がある。このようなことを踏まえ、稽古を通じて、あるいは道場の中で、色々なところで子供たちと触れ合い、その子供を正確に把握し、指導者が親の気持ちになって愛情一杯に教えなければ本当の指導はできません。剣道では子供の成長を、強くなったとは表現しない。試合では勝った負けたと話すが、これはこの一日だけ強かったという意味合いで、絶対性のないのが剣道の特性であると思う。たとえ全日本剣道選手権大会で優勝しても、その日だけのチャンピオンであって永久のものではない。その後の日々の稽古を怠れば、過去の遺物となり、あの人は昔は強かったのにと努力不足を批判され、いま現在の真価を問われる。

このような観点から、剣道では腕を上げることを「上達」と表現し、師匠と弟子が互いに切磋琢磨しながら心身共に成長

していく。師の背中を見て弟子が育ち、先輩の背中を見て後輩が育つ。これを師弟同行といい、結果よりそのプロセス（過程）を大事にするのが修行の基本です。

剣道を知り理解するまでは多少時間がかかるが、将来に大成していく剣、即ち君子の剣、王者の剣と言われるような雄大な剣を目指してほしいと願っています。そして、相手がいるから自分も稽古ができるんだという敬いの心を持って慈愛溢れた思いやりのある剣の道を歩んでほしいと願っています。

（保護者の方へ）子供たちの成長は指導者の喜びでありご両親の一番の喜びでしょう。本人と指導者、そして家族が三位一体になって物事が成り立つと思う。特にご家庭でのディスカッションによる子供への褒め言葉が「やる気」につながります。「今日の稽古はよく頑張ったね」「今日の試合は負けたけど、よく声が出ていたよ」と、良いところを見つけて長所を認めてあげてください。子供は無視されれば傷つき、親の存在を求め、存在を確かめながら頑張ろうとする。道場で見学していただくのも、このような意味合いがあります。小学生より中学生、中学生より高校生、高校生より大学生、大学生より一般と上達しながら、ものの道理を深め心身の成長と並行して技前が向上していく剣道を目指しています。

R2年度 剣道文化講演会 へのお誘い より安全に、生涯剣道に向けて

と き R3年2月6日（土）14時～
ところ 「エル・おおさか」

<講演会>

第一部 講演 「アスリートの肘痛」

JCHO 大阪病院 統括診療部長 整形外科部長
島田耕造 先生

第二部 講演 「スポーツ中の心血管疾患 のリスクと対処法」

ヘルランド総合病院院長
心臓病センター循環器内科 部長
片岡 亨 先生

★先着 100 名様募集中！ 来てね＼(^6^)/
会費 正会員 1100 円（非会員 1430 円）

コロナに負けるな！地区活動だより

高槻市剣道連盟から R2.11.29(日)三島・豊能・北河内三地区合同講習会の様子をご紹介します

「剣道の総括」～当日の講義メモから島野泰山先生の剣道講話です～

1. そもそも剣道とは？

剣道の理念に「剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道」とあるが、「人間形成」は分かりにくい、むしろ「人格形成」とした方が良かったのではないかという意見もある。

「剣道とは、相手の攻撃に対する“瞬時の自己創造”であり、迷ったら負ける、命がない。そこで、剣の理法の修錬（稽古）によって、「驚（きょう）、懼（く）、疑（ぎ）、惑（わく）」の精神状態に陥ることなく、如何に平常の心で対処できるかを求めることと理解できる。

2月の行事・イベント

詳しくはホームページで見てね

2/6（土）	スポーツ安全講習会（エルおおさか）
2/7（日）小 2/11（祝）中	大阪府少年剣道大会（貝塚）
2/7（日）	杖道高段者安全講習会（川西）

2月の行事・イベント

詳しくはホームページで見てね

2/11（祝）	居合道高段者特錬（東淀川）
2/13（土）	居合道第3回特錬（修道館）
2/27（土）	居合道春季講習会（東淀川）
2/23（祝）	全日本都道府県対抗予選（丸善）
2/23（祝）	剣道小学生昇級審査（修道館）

2. 4つの稽古の意義

剣道には大きく四つの稽古がある。掛かり稽古・打ち込み稽古・引き立て（指導）稽古・互格稽古。重要なのは「上位者に掛けてこそ、上達が早く、強く」なる。特に「掛かり稽古と互格稽古の違い」を知ってほしい。掛かる稽古とは、上位者から、先の気と技をいただくことであり、上位者が間を詰めて打ち間（間合）を教えているのに、間を外すようでは、稽古の意味がない。上位者に掛かり、気をいただく稽古で、2-3分で息が上がって当然で全身全霊で掛かる稽古を心掛けてほしい。

3. 日本剣道形的重要性

「形は面白くない、受審の為」程度と考えている人がいる。太刀の1本目の左上段と2本目の小手抜き小手下らいで、後は一本目の右上段、三本目の下段からの位詰め、四本目にいたっては八双と脇構え・・・と「実戦で使えない、使ったこともないような構え」と。形は何を教えているか、正しい刀法、作法と所作、目付、呼吸法と残心等、先人の工夫の結晶であり、剣の理法、理合を分かりやすく教えている。習熟度に応じて、より深く、高度な日本剣道形を修得していただきたい。

4. 先人の残された名言、教えの言葉を学ぶ

千葉周作の教えに「気は早く、心は静か、身は軽く、目は明らかに、業（わざ）は烈（はげ）しく」とあります。見えないところが大事で、水鳥は水面を何事もないように滑っているが、実は水面下の足は烈しく動いています。「目は観見の目付け、観の目強く、見の目弱く、業は烈しく、見事に打ち切る技を出せるように」と。

（補）先日の八段審査会で感じたこと

立合いは約120秒しかない。始めの20～30秒は攻め合い、探りあい。どうする、どうしようと思っている間に・・・、打突の機会はそう多くはない。それと、一次二次を通じて、二人目の対戦の最後まで持続する充実した気力、気迫と持続する体力。これがポイントかも！！

講習会を主幹して

コロナ禍が拡大する中、子供たちをどう指導したら良いか、新しい剣道を模索中の剣道家約120名が、講師陣の熱心なご指導の下、真摯に受講して戴き、熱気あふれる素晴らしい講習会になりました。コロナに負けずがんばります。これからも、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いします
（高槻市剣道連盟 大島）

おめでとう！ 昇段審査に合格した皆さん

R2.11.23(月祝)岸和田市立総合体育館で行われた昇段審査の合格者をご紹介します。
剣道修業はこれからもっと面白くなります。続けてね！

※合格した全員の受験番号と氏名を別刷の『合格者一覧』に掲載しています。



<初段合格記>

「中学生になって中々稽古できないですが、合格できたので、これからも頑張って続けたいと思います。」

狩野 丈太郎 (高槻第3中学校)

千原 隆斗 (同上)



<二段合格記>

「先生のご指導の御蔭で合格できました。これからも、勉強と両立できるように頑張ります。」

西井 陽

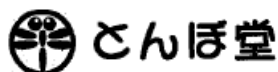
～がんばっている皆さんを応援しています！！～



日本料理/居酒屋/炉端焼き/レストラン/ケータリング



本部 大阪市港区波除2-4-10 菜花野ビル2階
電話 06-6586-2288 Fax 06-6584-4156



代表 粕井 誠

〒578-0901 大阪府東大阪市加納2-11-16-101
電話・FAX 072-970-6851
<http://www.rakuten.co.jp/tombodo/>
<http://www.tombodo.com/>
m.kasui@tombodo.com
携帯電話 090-1074-7761

編集後記

IT 広報委員会・委員長の森です。会員の皆様方には平素よりお世話になりありがとうございます。

この度、広報誌（最初はプレ版）を発行できる運びとなりました。会員の皆様にお役に立てる記事の掲載を推し進めて行く所存ですので、ご理解とご支援をよろしくお願い致します。

さてコロナ禍の影響で、懸念されている、子供たちの剣道離れということがあると思っております。このような時期だからこそ、我々大人のできることが何かあるのではないのでしょうか？もう一度原点に戻り、各人が剣道とは何かということ真剣に考える時期に来ているような気がしております。

大剣連では会員の皆様との双方向のコミュニケーションの活性化を促進して行きたいと考えております。お気づきになられたこと、ご感想など、忌憚のないご意見を以下に頂戴できれば幸いです。

info-shinsa@osa-kendo.or.jp

